

# 友和



NO.574

発行日 令和7年2月1日

発行 社会福祉法人 友和の里

〒738-0203

広島県廿日市市友田 218-38

TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154

HP : <http://yuuwanosato.com/>

発行者 常務理事 下川真穂



1	2	3
4	5	6
7	8	

作者 (番号順)  
 1 山根慶一 2 野島諒 3 益田蒼  
 4 三宅一総 5 寺尾昌敏 6 小関孝一  
 7 藤村碧 8 納所謙心

# 年回

ふじたにひてとし  
藤谷秀登志さん、  
ひらたかし  
平隆志さん、

しおたよしまえ  
塩田兆優さんが点火をしました。



外部からのお客さん  
甘日市市佐伯消防署、  
友和市民センター、竹を提供し  
てくれた河崎さん、あおぞらの  
利用者さんが来られました。

書初めを  
とんどにまいて  
飾りつけました。



冬晴れの日にとんどをしました。今年は年配の職員と若手職員が一緒に準備をしました。一緒にジュンテンドーへ行き、竹専用の鋸を買うところから始めました。点火の時、下友田の地域の人、消防署、友和市民センターの職員が見に来てくれました。少し遅れて近隣の福祉事業所あおぞらの人たちも来ました。去年はとんどを見ているうちにナイロン生地

の上着に穴があいてしまった人が何人かいたので今年は予防対策として、バスタオルを羽織ったり傘をさして見学しました。職員のアイデアです。点火後、炎が高く燃えあがってパンパン竹のはじける音が何度もしました。ぱんつとはじけるとその音が山にひびきました。山に囲まれた友和の里のとんどならではの光景だなあと感じました。去年は燃えている火におかかって行こうとする人が何人かいたそうですが、今年は落ち着いてみている人が多かったようです。途中でお菓子がみんなに配られました。冬の日に屋外で火をみながら食べるおやつは、いい思い出になるなあとと思います。とんどをするためには準備が欠かせません。吹雪の日竹の切り出しに行ったこと、何日かに分けて30本の竹を職員が手分けして運んだこと。近隣の地域でも伝統行事が減りつつあるこの頃、とんどを続けることができるのは友和の里の職員のチームワークと実行力、そして立地があつてこそだなと感じました。

通所部部長の須藤洋子さんにきました。友和の里でたくさんのとんどを見てきた須藤さん。今までのとんどは天気が悪いことが多く、雪の中でするとんどが多かった。今年のとんどはいつになく暖かく快晴の中実施することができ、気持ちよかった。まっすぐに上がった火柱に感動したそう。風が無かつたからかねと目を細めながら話してくれました。



【とんど担当だった朝川泰貴さんより】

あさかわたいき  
作っているときは分かりませんでしたが出来あがってみるといつもよりひと回り大きなとんどでした。その分、準備は大変でしたが、迫力のあるとんどになりました。見ている人を惹きつける力があつたと思います！

## 【とんどの記録】

とんどの様子を動画で撮影しました。インフルエンザ集団感染のため参加できなかった入所部やフレンドホームの利用者さんに後日みてもらうことができました。



# ちよつと ちいきと

今月は上中山にお住いの今田進いまだすすむさんに『とんど』の話を聞きに行ってきました。今田さんは毎年自宅前かみなかやまにある田んぼで、とんどをされて



いまだすすむ  
今田進さん (90歳)

ています。同じ佐伯地域でも、今田さんの作られるとんどはちょっとこだわりのあるとんどだなあと以前から気になっていました。このとんど、上中山町内会かみなかやまのみなさんが集まる恒例行事となっているそう。今田さんはとんど好きが集まるんですよと話されます。さてどんなとんどなのかご紹介したいと思います。

取材当日今田さん宅でコタツにあたりながらお話を聞きました。コタツには「とんどのこと」と達筆で書かれた原稿用紙2枚がきちんと用意してありました。それによるととんどの始まりは1000年くらい昔の平安時代の宮中でしていた「さぎちょう（左義長）」という行事で、青竹を束ねて球技に使う道具3本を結び、扇子や短歌、吉書などをそえて焼いたそうです。



昭和9年生まれの今田さん、子どものころからとんどはあったが戦時中はなかったそう。書道教室をしていたとき教室のメンバーでとんどをしていたが、そのあと地域の人たちと一緒にするようになった。漢詩や俳句を教えておられる今田さん、とんどの時には自分で作った漢詩を焼くそうで、細長い笹の先に1から2枚ずつ紙を突き刺し、笹を手にもってとんどの火にくべていく。より高く燃え上がると腕が上がると言われているそうです。友和の里はとんどに巻き付けておくんですよと伝えると、へーそんな風に焼きますかと興味津々でした。とんどの周りには東西南北を表す「玄武・青龍・朱雀・白虎」や恵方を示す「歳徳神さいとくしん」、「左義長さぎちょう」などを書いた紙を用意するのが今田さん流。「左義長」は入り口に置くのだそうで、「ひだりぎっちょ」とはなんですか？と訊ねられたことがあると笑いながら教えてくれました。

地区外のひとが通りがかりに一緒に燃やしてほしいと来られることもあるそうで、飛び込みも受け入れているという寛容さもいいなあと感じました。準備が大変では？と訊ねると、「面白いとおもってやらんと」と今田さんは言います。「毎年11月になったらとんどの準備を始めます。竹をきったり、ササの束をつくったり、やるのが楽しいからできる。世話する人がおらんとできんですよ。」とも話された。またとんどをした田んぼは後始末が必要なことも教えてくれました。稲作のために土の入れ替えを終わった後にしていたそうで、「去年から米作りはやめたのでせんでよかったが」と少し寂しそうに言われました。毎年しめ飾りの中にあるワイヤーなどの金物やプラスチックは地区の人で外してくれる人がいる。それでないと、後始末がもっと大変になるということも言われていました。



1/12 当日のとんど (上中山地区)

取材に行った日、今田さんがその日の中国新聞に掲載された俳句を紹介してくれました。「おおくしゃみ山にこだます過疎の村 今田笹舟 (中国新聞掲載 12/24)」今田さんは毎週月曜日3句ずつハガキに書いて中国新聞に送っていて、だがめったに掲載されないとぼやかれています。文化人という言葉がぴったりくるようなご長寿の今田進さん、「笑いながら暮らしています」「なんとかして残していくこともいい」「友和というのはいいい地名でしょー」ととんどの話の合間につぶやかれる言葉に私の顔が何度もゆるみました。

(地域交流支援員 ヒューガノリコ)

### 陶芸班

今月は貝通しの豆管入れの作業を中心に、話をしながら皆さんそれぞれのペースで頑張っている。今年はどうな作品を作ろうかと皆さんで相談しながら、「こんなの作ってみたい！」や、「こんなの作ってみたいよ」と試作もしています。皆さんにお届けできるのが楽しみです。

(生活支援員 堂面 なみ)



### 療育班

ゴム入れ作業の様子をお伝えします。兼清さんはえんえんと作業を続けることができます。終わりが分からなくなることがあるので兼清さん専用の道具を用意しています。仕切りをして12個の枠をつくりゴム入れ作業をもらっています。一人ひとりにあつた支援をめぐして工夫をしながら行っています

(生活支援員 濱田 吉弘)



### 創作班

貝通し班  
引き続き貝通しと豆管入れ作業をしています。皆さん黙々と良いペースで安定して取り組んでおられます。今回は、岡田さんをご紹介いたします。岡田さんは手先が器用で、貝を通した後の番線をペンチで上手に締められます。集中力も高く、作業に取り掛かると時間いっぱい黙々と作業されます。そんな岡田さんと、これからも一緒に日中活動していけたらと思います。

(生活支援員 冠 茜)

いろいろな考えながら支援をしています。職員とおしゃべりしながら作業していた大黒さん。この頃は作業中に話してもいい場面とそうでない場面を意識してもらっています。創作班という小グループですが一緒に活動するメンバーの様子に合わせることも大事。相手からの反応があることでかえって行動を強めてしまうこともあります。大黒さんが状況に合わせて相手の気を引けるような支援ができればなと思っています。(生活支援員 寄尾 博孝)

### 書初め

1月6日に通所部で書き初めをしました。皆さん思い思いに筆を滑らせ、個性豊かな書き初めが完成しました。完成した書き初めは通所ホールに飾り、18日に行われたとんどで無病息災をお願い燃やしました。年の初めに心を新たにし、良いスタートが切れたのではないかと思います。

(生活支援員 冠 茜)



### ワクワク通信

12月21日の開所日はクリスマス会を行いました。開所日の前からホールを少しずつ飾りつけ当日にはホールにツリーを飾りました。毎日少しずつ増えて行く飾りをじいじと見ている人もいました。クリスマス会の午前は職員によるチューバ演奏でした。みんなが知っている曲やクリスマスにちなんだ曲の演奏がありました。ほとんどの人が席に座って聴いていました。昼食にケーキをつけてクリスマス気分を味わっていました。午後にはおやつとジュースを楽しく食べて、少し早いクリスマスを楽しんでもらいました。

(主任生活支援員 西川 厚)



# しんねんかい 新年会

一月10日(金)に新年を祝う会を行いました。今年、還暦で年女の住吉順子さん、成人の高橋陽介さん、年男の平隆志さん、藤谷秀登志さん、塩田兆優さんのお祝いをしました。とても賑やかで、友和の里らしく、新年一発目にふさわしい一日となりました。皆さん良い表情で式に臨まれていらっしゃいました。午後から通所部では、巨大な蛇のイラストを作成しました。皆さん好きな色を手に取り、描かれ、素敵な作品が完成しました。積雪が心配され、気温は低かったものの、晴天に恵まれた一日となりました。今年一年、皆さんが元気で楽しい年になりますように。  
(生活支援員 冠 茜)



赤いちゃんちゃんこを着た住吉さん (還暦)



成人の高橋陽介さん



1月の入所部では新年度を迎える前にイベントホールに飾り付を行いました。イベントホール内の飾りを楽しそうに触って遊ばれる山田さんの姿も伺えました。一月一日には津田八幡神社へ初詣に行きました。天気も良い日に行く事ができ、日頃からウォーキング運動のおかげで神社の階段を皆さん比較的スムーズに上がられる様子が伺えました。角野さんは初詣を楽しみにしていたみたいで嬉しそうなお表情で階段を上がっておられました。参拝もしっかりと出来て気持ちの良い新年のスタートができたのではないかと思います。また、一月二日には給食時にたこ焼きが出て、皆さん美味しく食べてニッコリされていました。今年も皆さんと笑顔で元気に過ごしていきたいと思えます。  
(生活支援員 平田 譲一)



## ゆめ森・はな森・めく森 News

冬の訪れ (No18)

友和の里では、朝は霜がおり霜柱が見られる季節になってまいりました今回は以前利用者の皆さんと一緒に作った、丸太ベンチのペンキ塗りを行いました。皆さん笑顔で楽しそうに作業をされていました。また、綺麗になったベンチは遊歩道芝生広場にありますので、遊歩道を歩かれた際はゆっくり休んでみてくださいね。

(生活支援員 高橋 正雄)

このたび、当法人で監事を務めておられる上野監事より下友田町内会のとんど祭りのお誘いがありまして、グループホームゆうわの皆さんと一緒にとんど祭りに参加させていただきました。上野監事をはじめ地域の方々が温かく迎えてくださり、お菓子とジュースをいただき楽しい時間を過ごしました。「火がすごかったね」「お菓子もらったね」と参加された皆さんも嬉しそうに話されていました。こうした温かい交流の場を通じて地域の一員であることを改めて感じる事ができました。お誘いくださった上野監事、そして快く迎えてくださった下友田町内会の皆様、本当にありがとうございました！（部長 乙原 亮）



聞くと50本もの孟宗竹を使ったと言われ、かなり大きなサイズのとんど。公園の中なのでじっくりと見ることができました。



今年も元旦にフレンドホームゆうわへ岩組町内会の若者会の獅子舞が来て下さいました。入居者の無病息災を願い、お一人ずつ獅子舞が頭を噛んで回りましたが積極的に頭を出される方、獅子舞を怖がり恐る恐る頭を出される方と様々でした。岩組町内会の若者会の皆様、毎年ありがとうございます。今年も入居者、保護者が快適で安心する生活の場を提供出来るよう職員一同、尽力する次第でありますので些細な事でも気になる点があればご連絡下さい。

（生活支援員 永中 崇裕）



陽ざしに春の到来を感じる事の多くなってきた今日この頃です。その一方で、インフルエンザにかかったんよう、とか、今年の杉花粉はすでに飛び始めているとか… 皆さま、いかがお過ごしでしょうか。先月の本欄で「職員間の話し合いをもっともっと増やしていくこと」をしたためました。しかし、その実際は私の机のある事務所からではなかなか掴むことはできません。そんな中で入所部のある会議記録に「1月の利用者さんのいい所を見つけよう」という欄がありましたので、多くの記録の中からいくつかを抜粋して紹介させていただきます。

- ・Aさん 温和。体を動かすことが好き。指先が器用。
- ・Bさん 筋トレ・パズルなどの課題をととても頑張っておられ、すごいと思いました。
- ・Cさん 怒ったところを見たことがない。
- ・Dさん 好き嫌いなく何でも食べる。
- ・Eさん 食後自分の席とその周りの食べこぼしを拭いてくださる。
- ・Fさん 歯磨きが苦手で、強く拒否される時期があったが、最近は慣れたのか落ち着いて歯磨きができる。
- ・Gさん 蜘蛛の巣や落下ゴミなど小さな変化に気づかれる。
- ・Hさん ホールの換気のため窓を開けるが、Hさんの後ろなのでかわいそうな気がするが、協力してくださるので助かる。
- ・Iさん 部屋の換気のため、前面のサッシを開けるように頼んだら、直ぐに開けてくれた。
- ・Jさん 朝の更衣時に自分でタンスから服を出し、着替えてくださる。
- ・Kさん 失敗したシーツを風呂に入れたことを2日にあたり、自分で報告されましたのですぐに対応できました。ありがとう!!
- ・Lさん ちょっとしたリアクション等ですぐ笑ってくれる。
- ・Mさん ハイタッチに応えてくれる時の笑顔がいい。職員が頑張れる力になります。
- ・Nさん 違っているものがあれば正しく直すように教えてください。
- ・Oさん 出会ったらず大きな声で挨拶ができる。気持ちよく仕事を始めることができます。
- ・Pさん ひざ枕など「ダメよ」と言うと理解してくれて、ほとんどやらなくなりました。



支援の具体はお一人おひとりの個別支援計画が基になります。職員が共有して日々の支援に当たっていますが、ケガや事故のないように、争い事などが無いようにと職員は職務についています。過度な緊張やプレッシャーの中、気持ちにゆとりがなければ「利用者さんのいい所」を見つけることは困難です。そうした中で上に並べた「いい所」を見つけ、より良い支援につなげようと向き合っていることが伝わりました。

読者の皆さまはお一人おひとりの利用者さんのプロフィールがわからないため上記の内容だけではピンとこないかもしれません。しかし、私は、職員にとって「利用者さんのいい所」の共有は、支援の源となり、利用者さんから「頑張れる力」や「気持ち良く仕事ができる力」をいただいているのだと会議記録から学びました。社会福祉の理念は、「個人が尊厳をもって、その人らしい自立した生活が送れるよう支える」とあります。友和の里では、日々、その理念に沿った支援を工夫と努力の中で求め続けています。

(常務理事 下川 真稔)

# 2月 ぎょうじよてい 行事予定

2/10(月) たの かい にゆうしょ お楽しみ会(入所)

2/11(火祝) けんこくきねんび 建国記念日

2/11(火祝) ふゆ GH/FH 冬まつり

2/14(金) ゆうしょくかい GH/FH 夕食会

2/15(土) かいしょび つうしょ 開所日(通所)

2/16(日) ほうもんびよう GH/FH 訪問美容

2/18(火) しょうぼうくんれん GH/FH 消防訓練

2/19(水) れくりえーしょん にゆうしょ レクリエーション(入所)

2/24(月祝) ふりかえきゆうじつ 振替休日

しょくいんとつげき

## 職員突撃インタビュー

今月は GH/FH のスタッフ やまだのりゆき 山田憲志さん(生活支援員)に突撃インタビューしました。

### 入職1年たって、どうですか？

利用者さんが名前を覚えてくれました。夜勤で来た時、「山田サンダー」「アーキタツ」と四藤さんが名前を呼んでくれるのがうれしい。

下崎さんが「ドッチノ泊リカ?」「コッチジャナインカー」と残念がってくれたり、「フロイコ」と浅香さんが入浴に誘ってくれる。

一緒にその人の人生を歩ませてもらっている感じがして、やりがいを感じています。



こせきこういち やまだのりゆき  
利用者小関孝一さんと山田憲志さん

### 通勤するときに眺める風景

春、通勤中にみた枝垂桜がとってもキレイだった。車からみえる景色から季節を感じる事ができて楽しみにしている。夜は星空がきれいで夜勤中に外に出て見ることができる。

### グルメ情報

職員からグルメ情報を聞くことができる。津保美堂の二重焼きが美味しいと教えてもらい家族に買って帰ったら好評だった。職場のあるこの地域のおいしい情報は家族も喜ぶのでありがたいです。

### ご寄付の紹介



朝倉寿子さま

たくさんのご寄付を賜り厚くお礼申し上げます